

ブイゲットバリアード粒剤

[チアクロプリド・チアジニル粒剤]

農林水産省登録 第21357号
有効成分 チアクロプリド…1.5%
チアジニル…12.0%
性状 類白色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：4年 包装：1kg×12、10kg×1 RACコード：殺虫[4A]殺菌[P3]

特長

- 育苗箱処理により、いもち病、白葉枯病、水稻主要初期害虫を同時防除できる。
- ブイゲットは稲をいもち病、細菌病にかかり難くする作用性（病害防除機能の増強）を有しており、耐性菌出現リスクが低く、既存剤に耐性のいもち病にも有効で、安定した効果が長期間持続する。また、白葉枯病、もみ枯細菌病等の細菌性病害にも有効である。
- バリアードは、初期害虫に対して高い殺虫効果を示すとともに、優れた防除効果が長期間持続する。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植する。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10a までとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 誤って過剰に使用したり、本剤使用后10日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守する。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出しないよう注意する。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアクロプリドを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ツマグロヨコバイ 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植10日前～移植当日	1回	育苗箱中の苗の上から均一に散布する	1回	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)					
	もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～移植当日				
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)					
	ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植当日				
		高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g)					

製品写真



最新の登録内容はこちら

